

入所申込者第二次判定基準

この表は、別表1の第一次判定基準で抽出したグループ等について、そのグループ内での優先度を判定するため、下記の項目等による詳細な調査を行うものである。

1.日常生活上の問題点（0～20点）

①障害高齢者の日常生活自立度（0～6点）

ランク	J	A	B	C
配点	1	2	4	6

②認知症高齢者の日常生活自立度（0～6点）

ランク	I	II	III	IV	M
配点	1	2	3	5	6

③認知障害等に伴う問題行動の内容やその程度（0～8点）

問題行動の程度・頻度	配点	問題行動の内容
介護負担 多い	8	暴言・暴行、不潔行為、一人で出たがる、一人で戻れない、常時の徘徊、介護に抵抗異食行動、昼夜逆転、火の不始末、物を壊すなど。
〃 普通	5	
〃 少ない	2	
〃 ない	0	

※上記行動の内容・件数・頻度等を考慮して配点する

2.家族等の状況と生活の場所等（3～20点）

①家族等の問題（1～6点）

介護者の状況	配点	介護者の状況
介護能力 なし	6	介護者は居るが殆ど協力的なし、 介護者は居るがやや非協力的である、 介護者は別棟又は近隣である、 介護者は他人である、など
〃 低い	4	
〃 普通	2	
〃 高い	1	

※介護者の状況を総合的に判断し配点する

②生活の場所（1～8点）

在宅	介護保険施設		病院		その他施設	生活支援施設 (ケアハウス・サ高住・養護等)		小規模 多機能
	特養	老健 療養	短期 入院中	長期 入院中	グループホーム 障害施設等	介護無	介護付 (特定)	
8	1	2	3	4	3	6	2	5

③居宅サービスの利用状況（1～3点）

利用状況	3割未満	3割以上6割未満	6割以上
配点	1	2	3

④待機期間（0～3点）

待機期間	1年以上2年未満	2年以上3年未満	3年以上
配点	1点	2点	3点

3.特記事項（0～10点）

介護の必要性や在宅介護の困難性について、別表1、2により判定するが、これらの項目に反映されない部分について、入所検討委員会等で特記事項の理由付けを行い加算できるものとする。

点	理由

合 計	／50点
-----	------